

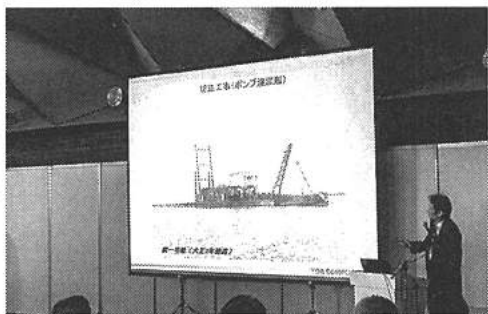
最新の海洋技術展示

協議会、横浜市で
うみコン2018

海洋都市横浜うみ協議会（名誉会長・林文字横浜市長）や横浜市、海洋研究開発機構らが主催する「海と産業革新コンベンション（うみコン2018）」が16と17の両日、横浜港大さん橋国際客船ターミナル内の大さん橋ホールで開かれた。

コンベンションは、海洋産業の振興・活性化を目的に海洋関連の企業・研究機関・大学などが一堂に集まり、最新の技術や研究成果

を共有するため開催。同機構の学術研究船「白鳳丸」の一般公開や、海底資源調査向けホバリング型無人潜



東亜建設工業による
セッション

水機「ほばりん」の実機展示など、海洋に関するさまざまな技術が紹介された。

このほか、東亜建設工業の津田宗男技術研究開発センター副センター長と飯田宏土木事業本部機電部課長による「技術研究開発センターの研究設備と水中施工技術」と題したセッションが開かれた。いであの古殿太郎国土環境研究所環境調査部グループ長による水中可視化技術、八千代エンジニアリング総合統括本部環境計画部の石井重久氏と横浜市立大学による海中デザイン技術なども発表された。